

2023年10月吉日

島根例会「第7回中国本部技術士研究・業績発表会」(ハイブリッド)開催のご案内
テーマ；技術士としての継続研さんと社会貢献

公益社団法人 日本技術士会 中国本部
本部長 福田 直三
事業副委員長 峯岡 静彦

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年開催します島根例会「第7回中国本部技術士研究・業績発表会」は、第1日目(12月9日)に見学会および意見交換会、第2日目に第7回中国本部技術士研究・業績発表会(以下、発表会と略す)を松江ニューアーバンホテル別館で開催します。

開催のテーマは、今年3月8日に改訂された倫理綱領を踏まえ、第10番目の(継続研さんと人材育成)「技術士は、専門分野の力量及び技術と社会が接する領域の知識を常に高めるとともに、人材育成に努める」に焦点を当て、さらにさまざまな社会貢献への展開としました。

研究・業績発表として、9編の発表を行います。また、松江工業高等専門学校校長 和田 清 氏(技術士会会員)から「松江高専起業家育成エコシステム；学生による社会課題解決の取り組みと地域活性化への貢献」と題して基調講演をいただきます。

本会会員、非会員、一般市民、学生の方の参加も歓迎しますので、お誘いあわせのうえ是非とも多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

なお、オンラインシステム(Teams)によるハイブリッド方式での開催を行います。

○会員・非会員申込 URL；<https://forms.gle/JyszmDYiY4BLiswVA>

○オンライン申込(会員)；

<https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php>

○申し込み締切り；12月1日(金)

敬具

記

【建設系 CPD プログラム登録】

- 見学会(詳細は資料1~3参照)：12月9日(土) 13時~17時
 - 見学場所；たなべたたらの里「里山の魅力を引き出して循環型の中山間地域に」
 - 参加料；会員・準会員・非会員 3000円
 - 定員：40名
 - CPD 単位：3時間
- 意見交換会：12月9日(土) 18時~20時
 - 場所；松江ニューアーバンホテル別館 10F
 - 会費；会員・準会員・非会員 6000円

【建設系 CPD プログラム登録】

3. 島根例会「第7回中国本部技術士研究・業績発表会」次第

- (1) 日 時 2023年12月10日(日) 9:30 ~ 16:05
 (2) 場 所 松江ニューアーバンホテル別館
 〒690-0845 島根県松江市西茶町40-1 TEL: 0852-23-0003
 (3) 参加費 会場参加;(会員・非会員)無料
 オンライン参加;(会員)500円・(非会員)1000円 ※昼食(弁当):1500円
 (4) 定 員 会場80人、オンライン100人
 (5) 締 切 12月1日(金)
 (6) CPD単位 5時間30分
 (7) プログラム

総合司会 峯岡 静彦

09:30~09:40	開会挨拶	公益社団法人日本技術士会 中国本部長 福田 直三
09:40~09:45	全体進行の説明	総合司会 峯岡 静彦
		(進行説明) 午前座長・荒本達也
09:45~10:10 25分	発表①:市街地における道路法面で発生した地すべり変状とその対策 講師:○井手内 祐志氏・野津 幸二氏(応用理学部会)	
10:10~10:35 25分	発表②:広島のため池を考える~島根に流れる江の川上流域のため池について~ 講師:高田 善雄氏(農林水産部会)	
10:35~11:00 25分	発表③:コウノトリとの共生:島根県雲南市での餌資源調査と地元住民との連携 講師:田中 秀典氏(環境部会)	
11:00~11:10		休憩
11:10~11:35 25分	発表④:中海・宍道湖の汽水環境について 講師:溝山 勇氏(建設部会)	
11:35~12:00 25分	発表⑤:“湖沼水環境保全に関する自治体連携”の活性化に向けて 講師:井上 祥一郎氏(上下水道部会)	
12:00~13:00		昼食(会場内)
13:00~14:00 60分	(講師略歴紹介)松江高専だんだん技術士会会長 渡部 修 基調講演「松江高専起業家育成エコシステム;学生による社会課題解決の取り組みと地域活性化への貢献」 講師:国立松江工業高等専門学校 校長 和田 清氏(技術士会会員)	
14:00~14:10		休憩
		(進行説明) 午後座長 山崎篤実
14:10~14:35 25分	発表⑥:インフラ設計に特化した3D CADソフトを併用した高専での道路設計演習の取り組み 講師:○荒本 達也氏(建設部会)・河村 進一氏(呉高専)	
14:35~15:00 25分	発表⑦:長大な不景気で疲弊した組織でも可能なDXの事始め 講師:盛田 直樹氏(電気情報部会)	
15:00~15:25 25分	発表⑧:新製品・新テーマ探索への慧眼と人材育成 講師:焼本 数利氏(化学金属部会)	
15:25~15:50 25分	発表⑨:情報倫理とLLM(大規模言語モデル) 講師:長原 基司氏(電気情報部会)	
15:50~16:00		講評 事務局長 山下 祐一
16:00~16:05	閉会挨拶	公益社団法人日本技術士会中国本部・島根幹事

(6) 応募論文；発表者と概要

関連部会	論文名	発表者	専門	発表区分
応用理学	市街地における道路法面で発生した地すべり変状とその対策	井手内 祐志*1 野津 幸二*2	*1 技術士補 (建設) *2 建設, 総監	防災・減災, 地すべり対策
概要	市街地の道路法面において施工中に地すべりによる変状が認められた。キャップロック構造により供給される地下水や切土による応力開放がその要因と考えられた。現地では法面区間全体において調査ボーリング、比抵抗二次元探査、地すべり観測を実施した。これらの基礎資料を基に地すべり機構解析を行い、そのメカニズムを解明するとともに地質リスクを踏まえた地すべり対策工設計を実施した。			
農森水産	広島のため池を考える～島根に流れる江の川上流域のため池について～	高田善雄	建設, 農業, 総監	防災・減災, ため池 流域治水
概要	広島には全国2位の数、17,000箇所も農業用ため池を抱えている。瀬戸内の降水量が少ない地域に多いが、島根県に流れる江の川上流にあたる地域にもかなりの数が分布する。どうしてなのかを考察し、流域治水における役割なども考えてみたい。			
環境	コウノトリとの共生：島根県雲南市での餌資源調査と地元住民との連携	田中秀典	建設, 環境, 総監	環境(生態), 地域連携
概要	島根県技術士会生物多様性分科会は、雲南市にコウノトリが飛来して以来、地元住民と協力して共生を促進するための餌資源調査や保護活動などの取り組みを行っている。今回の発表では餌資源調査の結果と地元住民への支援や取り組みについて発表する。			
建設	中海・宍道湖の汽水環境について	溝山 勇	建設, 総監	環境 (水質・生態)
概要	中海・宍道湖は島根県東部に位置する汽水湖である。また、二つの湖が河川で結ばれた連結系汽水湖であり、異なる塩分濃度と生態環境を有する希少な湖である。本発表は中海・宍道湖の汽水環境がどのようなメカニズムで形成されるかを説明すると共に、それに伴う両湖の興味深い水質と生態環境について紹介する。			
上下水道	“湖沼水環境保全に関する自治体連携”の活性化に向けて	井上祥一郎	森林, 上下水道, 衛生, 農業, 水 産, 建設, 環境, 応用理学	湖沼環境保全, 地域連携
概要	筆者は、緩速ろ過/生物浄化法を学び、特許“下水処理水の再処理方法”を取得した。水環境保全上課題である湖底の貧酸素化防止、硫化水素発生抑制や、流域下水道の高度処理水の有効な利活用に応じ、これらの技術を組み合わせることで、生態系から得られる恵みを回復する“水環境保全”の寄与を考えている。			
建設	インフラ設計に特化した3D CADソフトを併用した高専での道路設計演習の取り組み	荒本達也* ・河村進一	*建設, 総監	デジタル技術, DX, 人材育成
概要	建設コンサルタントに勤務する傍ら、工業高等専門学校で道路概略設計の設計演習を行っている。これまでは、大判の紙図面を用いた従来手法による設計(2次元設計)を行っていたが、実習時間数の減少と設計実務との乖離を考慮して、一部、3D CADソフトを併用した演習内容に切り替えた。その効果と教育機関における社会人講師の意義について考察する。			
電気情報	長大な不景気で疲弊した組織でも可能なDXの事始め	盛田直樹	機械, 電気電子	デジタル技術, DX, 人材育成
概要	中国本部会報No.26 において記載した『長大な不景気で疲弊した組織でも可能なDXの事始め』について、実践面で浮かび上がってきた問題の事例紹介。導入事例や失敗事例の紹介によって、導入のハードルを下げてゆく。			
化学金属	新製品・新テーマ探索への慧眼と人材育成	焼本数利	化学, 総監	新製品開発, 人材育成
概要	著者は企業の中で、樹脂成形加工の研究開発に39年間従事した。そこで新しい樹脂成形法の創出を目指す一方、樹脂以外の新製品・新テーマの探索・企画に取り組んだ。この過程では、将来につながる貴重な助言を諸先輩から頂いた。本報では、新製品、新技術の探索や研究開発に取り組む人達のためになると思う助言を紹介する。			
電気情報	情報倫理とLLM(大規模言語モデル)	長原基司	情報, 総監	デジタル技術, 生成AI
概要	情報倫理(特に全ての技術分野に情報の分野が浸透していること)に関する話とChatGPTを代表とするLLM(大規模言語モデル)について紹介する。なお、生成AI(Generative AI:ジェネレーティブAI)ではなく、LLM(大規模言語モデル)としているのは、情報の分野では技術的にはLLMの延長線上に生成AIがあるためである。			

(公社)日本技術士会中国本部 第4回役員会及び
第7回「技術士研究・業績発表会(島根)」のご案内
テーマ：技術士としての継続研鑽と社会貢献

資料-1

○2023年度第4回中国本部役員会

1. 日時：2023年12月9日(土) 11:00~12:30
2. 会場：松江市西茶町40-1、(松江温泉・宍道湖大橋北詰) 松江ニューアーバンホテル別館2F
(TEL 0852-23-0003)

○現地見学会

1. 日時：2023年12月9日(土) 13:00 ホテル発 ~17:00 ホテル着・(往復バス利用・仁多観光バス)
2. 参加料：(案) 3000円 (参加費は乗車時に徴収)
3. 見学場所：雲南市吉田町吉田2556-2 (株) たなべたたらの里 (TEL 0854-74-9123)
「里山の魅力を引き出して循環型の中山間地域に」
4. 目的：日本一の山林王と謂われる田道家が2018年、約100年ぶりにたたらを復活させた。
その経緯と、あわせて吉田地区の集落の街づくり・景観などを研修する。

○意見交換会

1. 日時：12月9日(土) 18:00~20:00
2. 場所：松江ニューアーバンホテル別館10F(宍道湖を眺めながら歓談)
3. 会費 6,000円 (会費は会場にて徴収)

○技術士研究・業績発表会

1. 日時：12月10日(日) 9:30~16:05
2. 場所：松江宍道湖大橋北詰 松江ニューアーバンホテル別館 2F
(松江市西茶町40-1 TEL (0852)23-0003)
3. 基調講演 13:00~14:00
松江工業高等専門学校 校長 和田清氏 (工学博士・技術士(建設部門))
講演演題 「松江高専起業家育成エコシステム：学生による社会課題解決の取り組みと地域活性化への貢献」
4. 参加費用 無料。ただし弁当代1,500円



会場：松江ニューアーバンホテル、宍道湖大橋北詰

- ※なお、当日、松江ニューアーバンホテルでは、技術士会参加者用に10室程度、部屋(シングル)を確保しています。(本館、別館いずれも部屋仕様が異なりますので、直接、ホテルに「技術士会参加者」と伝え、申し込んでください。) なお、別館大浴場は松江温泉となっております。
- ※ホテル宿泊者は、別途駐車場代800円/台が必要です。

第7回中国本部技術士研究・業績発表会(2023.12.9～10)

資料 2

(島根) 参加申込書 (FAX)

FAX 082-511-0309 【申込期限:2023年12月1日(金)】

●事務手続き省力化のため、PCをお持ちの方は「参加申し込みフォーム」により申し込みいただければ幸いです。

参加申し込みフォーム: <https://forms.gle/JyszmDYiY4BLiswVA>

住所	<input type="checkbox"/> 自宅	<input type="checkbox"/> 勤務先 (<input checked="" type="checkbox"/> を付けてください)
〒	都道府県	市区郡
フリガナ		技術部門
参加者氏名		
勤務先	電話番号	E-mail

【会場参加】

日程	名称	会場	時間	参加費用 及び支払い時	参加項目に○印
12月9日 (土)	【見学先】 〒690-2801 雲南市吉田町吉田2556-2 (株)たなべたたら里 TEL 0854-74-9123 ※集合時間及び集合場所 PM0:45 ホテル前 大型バスで現地に向かいます。		13:00～17:00 (帰着予定)	3,000円 (市の施設2か所の 入場料を含む) ※バス乗車時	
	【意見交換会】 松江ニューアーバンホテル別館10F 万景の間		18:00～20:00	6,000円 ※会場受付	
12月10日 (日)	午前の部発表	松江ニューアーバン ホテル別館2F 湖都の間	9:30～12:00	無料	
	基調講演		13:00～14:00		
	午後の部発表		14:10～16:05		
	お弁当(お茶付き)		発表会場にて 昼食	1,500円 ※会場受付	

宿泊予約	ホテルに直接申し込みください。
会場ホテル	〒690-0845 松江市西茶町40-1 (宍道湖大橋北詰) TEL 0852-23-0003 (代表) 松江ニューアーバンホテル
	①本館、別館があります。両方並んでいますが、部屋の仕様は館ごとに異なりますので、宿泊はホテルにお問合せ下さい。(別途:駐車場代800円/台が必要です。) ②なお、本館1Fにはコンビニ、別館3Fには松江温泉大浴場があります。 ③また、ホテル前は一方通行となっており、宍道湖大橋側(東方向)からの進入は出来ません。 マイカーの方は松江市役所前 国道432号交差点より右折し、末次公園北側の市道をお進み下さい。

【オンライン参加】

●12月10日(日)の発表及び基調講演のオンライン参加費は(会員)500円、(非会員)1000円です。
オンライン配信の申し込みは(会員)下記URL、(非会員)上記申込フォームからお願いします。
<https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php>

●お問合せ先 公益社団法人日本技術士会 中国本部事務局
〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20 第3ウエノヤビル6F
Tel: 082-511-0305 Fax:082-511-0309 E-mail:ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp

「たたら製鉄の復活による循環型の中山間地域に」



博物館事業

鉄の歴史博物館



鉄の歴史博物館
ほろろ文化センター

菅谷たたら山内
高殿



菅谷たたら山内 高殿
ほろろ文化センター

菅谷たたら山内
生活伝承館



菅谷たたら山内 生活伝承館
ほろろ文化センター

【見学先】 島根県雲南市 たなべたたらの里

〒690-2801 島根県雲南市吉田町吉田2556-1

TEL 0854-74-9123

○目的

我々、(公社)日本技術士会は平成20年の全国大会(島根)で、当時、たたら村の村下(むらげ)である木原明氏の講演を聞き、大いに感動を覚えたことを思い出します。

今回は、日本一の山林王といわれる田部長右衛門氏が経営される「たなべたたら村」を訪問し、100年ぶりに復活された経緯を伺います。あわせて、雲南市管理のたたら資料館2箇所を見学します。なお、「たなべたたら村」は、森林を活かした地域造りに取り組まれています。

初冬の奥出雲ですので、朝夕、かなり冷え込む時期です。暖かい服装で参加ください。

なお、この施設は「豪華寝台列車 瑞風」の周遊ルートになっていることを申し添えます。

○時間 (12月9日(土)) 大型観光バスで移動

ホテル発 ⇒ 鉄の歴史博物館 ⇒ 菅谷たたら山内高殿 ⇒ 生活伝承館

13:00

14:00~14:30

14:50~15:20

15:30~16:00

⇒ ホテル帰着予定